

KINDAI CARELINK ケアリンク

Vol. 5

2018 . October

INDEX

- 1 診療科からの活動報告
 - 上部消化管外科
 - 小児科・思春期科
(アレルギー診療グループ)
 - 救命救急センター
(熱傷センター)
- 2 連携医登録について
- 3 紹介予約手続方法



近畿大学

KINDAI UNIVERSITY

医学部・附属病院

上部消化管外科

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた ロボット支援下胃切除術(ロボット胃切除術)

ロボット手術は、これまで泌尿器科の腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術でのみ保険適用になっていましたが、2018年4月の診療報酬改定で胃切除術、直腸切除・切断術など消化器外科手術でも保険適用となりました。当院でも2018年4月からロボット胃切除術を開始しました。

1. 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた

ロボット支援下内視鏡手術(ロボット手術)について

手術支援ロボットのダヴィンチは、2016年9月現在、全世界で3803台、アジアで476台、そのうち日本で237台(大阪で24台)導入されています。1~2cmの小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、術者は手術ベッドとは離れたサージョンコンソールに座って3Dモニター画面を見ながらあたかも術野に手を入れているようにロボットアームを操作して手術を行います。

ダ・ヴィンチ (da Vinci Surgical System)



上部消化管外科

2. 胃切除術

胃切除術では、膈上縁のリンパ節郭清操作によってしばしば膈液瘻などの術後合併症をきたすことがあります。ロボット胃切除術は、腹腔鏡下胃切除術と比較して術後合併症発生率が低く、より安全な手術とされています（Clavien-Dindo分類のGrade III以上の全合併症発生率：ロボット胃切除術2.5% vs 腹腔鏡下胃切除術6.4%）。ロボット胃切除術では、腹腔鏡をはるかに超える拡大視効果と3Dのため微細な血管まで認識して確実に処理することができます。

また、ロボット鉗子は人間の手関節以上に屈曲しますので腹腔鏡下胃切除術と違って膈臓をまったく圧排したり引っ張ったりすることなく膈上縁のリンパ節郭清が可能です。ロボット胃切除術を導入してから4か月経過しましたが、全例合併症なく順調に経過しています。今後も患者様に“より低侵襲”で“より安全”な手術を提供してまいります。

ロボット胃切除術：膈上縁の郭清



月曜から土曜まで胃癌専門の担当医が外来診察を行っています。

地域連携を通じてご紹介いただければ、患者様の病態に応じて適切に治療させていただきます。

小児科・思春期科 (アレルギー診療グループ)

ますます増え続ける食物アレルギー患者。
食物経口負荷試験を積極的に行い、
お子さんが安心して食事ができる環境を目指しています！

【日頃の外来でこのような質問をうけませんか？】

- 乳児湿疹があるのでアレルギー検査はした方が良いですか？
- 離乳食開始は遅らせるべきでしょうか？
- 牛乳を飲んだら、口の横とあごが赤くなったのですが、アレルギーでしょうか？
- 卵のアレルギーがありますが、ソバやピーナッツは食べて良いですか？
- 2歳の頃に卵を食べてアナフィラキシーになりました。次の春から小学生になるのですが、まだ卵は食べられないでしょうか？

【食物経口負荷試験】

このような質問への答えは、食物経口負荷試験により解決することがあります。食物経口負荷試験は、ガイドラインでは「食物アレルギーの最も確実な診断法」と位置付けられています。

この検査を受けるのに適しているのは、下記のa.～c.に当てはまる患者さんです。

- 特異的IgE抗体検査結果が陽性であったが、その食物を食べたことがない。
- 特定の食物を食べてアレルギーを疑う症状が現れたが、(口周りの赤みだけなど)明らかな症状であるとは言えない。
- 乳幼児期に卵・牛乳・小麦・大豆アレルギーと診断されているが、その後2年以上にわたり摂取歴がない。

【食物経口負荷試験の1例(卵アレルギーが疑われる場合)】

時間	
9:00-9:30	小児科病棟に入室
9:30-10:00	問診・診察など
10:00	食物経口試験開始、固ゆで卵白1g(約全卵1/40個)摂取
10:30	固ゆで卵白2g摂取
11:00	固ゆで卵白5g摂取
12:00	昼食
最終摂取から2時間後	結果説明・退院

小児科・思春期科 (アレルギー診療グループ)

当院では現在、月曜日から水曜日に本検査を行っており、日帰り入院で可能な検査です。結果が陰性であれば、もちろんその食品の一部もしくは全部が摂取できるようになるため、QOL向上が見込まれます。万が一、負荷試験で陽性となっても、① 摂取可能な量の目安が判明する

② 誤食時に生じる誘発症状への対策を立てられることで、患児及びその家族の食生活におけるQOLが向上します。

また、以前は、負荷試験後に継続して摂取することで食物アレルギーの発症・増悪が懸念されていましたが、近年ではその可能性は極めて低く、逆に摂取可能量を継続摂取することで食物アレルギーが改善することが知られています。さらに、アトピー性皮膚炎を有する乳児など、食物アレルギー発症のハイリスク者に対して、あえて早期から(生後5-6か月)摂取させることで、その発症を抑制することも知られてきています。これらの各場面において、負荷試験の実施が必要です。

現在、アレルギー専門医3名が常勤し、診療を行っています。食物アレルギー、またその他のアレルギー疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介頂けると幸いです。外来担当は以下の通りです。

月・水曜日:竹村 豊 (たけむら ゆたか)
水・木曜日:長井 恵 (ながい めぐみ)
火曜日 :山崎晃嗣 (やまさき こうじ)



救命救急センター

医学部附属病院 熱傷センターを設立いたしました

近畿大学医学部附属病院救命救急センターは、南河内医療圏における救急医療の要として、昭和57年(1982年)に開設されて以来、南河内医療圏およびその周辺地域に生じた重症かつ緊急の傷病者に迅速に対応すべく、スタッフ陣容と施設を整備しています。

大阪府では年間約300~400件の熱傷症例が救急搬送されていますが、南河内医療圏で発生した熱傷患者の約35%は、同地域の病院で治療を受け入れられずに、圏域外救急病院へ搬送されます。このような現状から、早期に近隣で適切な治療を行うことで熱傷患者の重症化を防ぐことが期待できます。

当院は、軽症な患者についても受け入れることを基本方針として、新たに「熱傷センター」を新設いたしました。熱傷対応病室と熱傷処置室(広いシャワールーム)を有しており、熱傷専門医を中心とし、メンタルヘルス科やリハビリテーション科、ケア業務のため看護部など、診療科や職種を超えたチーム医療で熱傷診療に臨みます。

【治療内容】

救急医学科・形成外科による合同診療を幹とした他職種・他チームによるチーム医療を行います。

初期治療、全身管理(循環・呼吸・代謝・栄養・感染管理・主要臓器保護)、強力なChemical Debridement治療、早期手術、特殊手術(自家培養表皮を用いたハイブリッド法)、早期からのリハビリ介入癒痕拘縮の予防・治療、メンタルサポート。

基本方針<Total Burn Care(熱傷の全てに対する治療)>を実践します。

【取り扱う主な疾患】

- 1) 広範囲熱傷
- 2) 特殊熱傷
(化学熱傷、放射線熱傷、電撃傷、凍傷)
- 3) 軽症熱傷
- 4) その他熱傷に準ずる病態

【担当スタッフ紹介】

リーダー医師 上田 敬博(救急医学教室)

サブリーダー医師 山内 誠(形成外科学教室)

松島 知秀(救急医学教室)

一ノ橋 紘平(救急医学教室)

青木 真理(看護部管理室副看護部長)

佐野 実加(救命救急センター看護長)

村上 香織(救命救急センター副看護長)

藤井 雅子(救命救急センター主任看護師)

井上 智恵(救命救急センター主任看護師) 井上 知美(ER主任看護師)

北澤 康秀(救急医学教室教授・救命救急センター長、熱傷センター設立準備委員長、アドバイザー)

磯貝 典孝(形成外科学教室主任教授、アドバイザー)



連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病院連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICTを利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

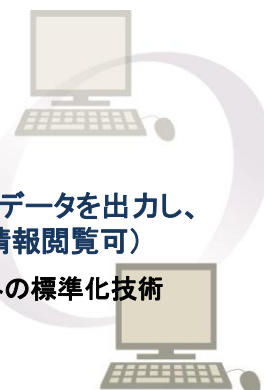
概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報(カルテ情報、画像、レポート等)の共有が可能になります。

(近畿大学医学部附属病院)

情報提供施設(近畿大学医学部附属病院)は、「SS-MIX2標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開(24時間情報閲覧可)

※SS-MIX2標準化(及び拡張)ストレージへのデータ出力は多くのベンダが対応済みの標準化技術(SS-MIX:厚生労働省電子的診療情報推進事業)



セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間はIPSec-VAPを利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】

①Internet Explorer6.0～11.0が動作すること。

②OSのVPN設定を行うこと。

(VPN(Virtual Private Network)とは、インターネットに接続されている利用者間に、仮想的な通信トンネルを構築したプライベートなネットワーク。通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三者が侵入することのできない、安全なネットワークです。)

③ウイルス対策の実施やWinnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。

情報参照していただけるもの

- 患者基本情報
- 病名
- 処方歴
- 検歴
- 各種オーダ情報
- 医師の記載
- 看護記録
- サマリー
- 経過表
- 画像情報
- 各種レポート

その他

・当院へ通院歴のある患者から同意(別添)をとっていただき、同意書を近畿大学医学部附属病院地域連携課までFAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。

・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、

「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。

(診療情報提供料(I)を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ)

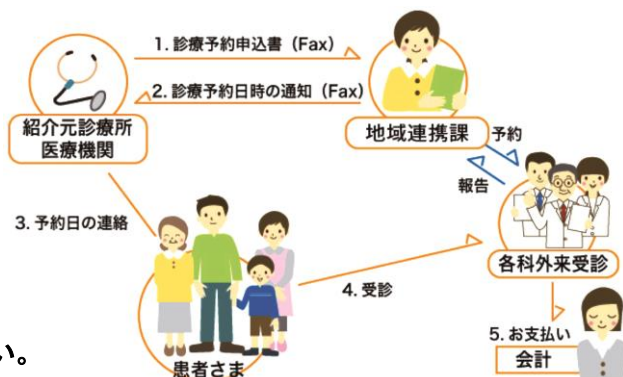
・平成30年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願い致します。

- 1 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願い致します。
- 2 患者さまのご希望の日時で予約をとり、「診療予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
- 3 患者さまに予約日時等をご説明頂き、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課 直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

地域連携課

直ちに専門医療が必要な症例、
病院事務から専門医に電話回送

072-366-0257

救命救急センター (24時間体制)

重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、
その他の高度な救急医療

072-366-0250

脳卒中コール

脳卒中(発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、
急性頭痛を呈する軽症から重症の患者)、
くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

072-366-0920

ハートコール

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、
大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

0120-145-810

周産期コール

産科救急(母体救急、胎児救急)、婦人科救急

072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請(相談)に応じ、
医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあげります。

ハートコール心臓血管センター

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)



近畿大学 医学部・附属病院
KINDAI UNIVERSITY

KINDAI CARELINK vol.5 2018年10月
お問合せ先/地域連携課
(直通 072-366-0257)